

屋内外シームレス測位サービス実証実験

実施エリア

空港
(成田空港)

新宿駅周辺

東京駅周辺

新横浜駅

競技場
(日産スタジアム)



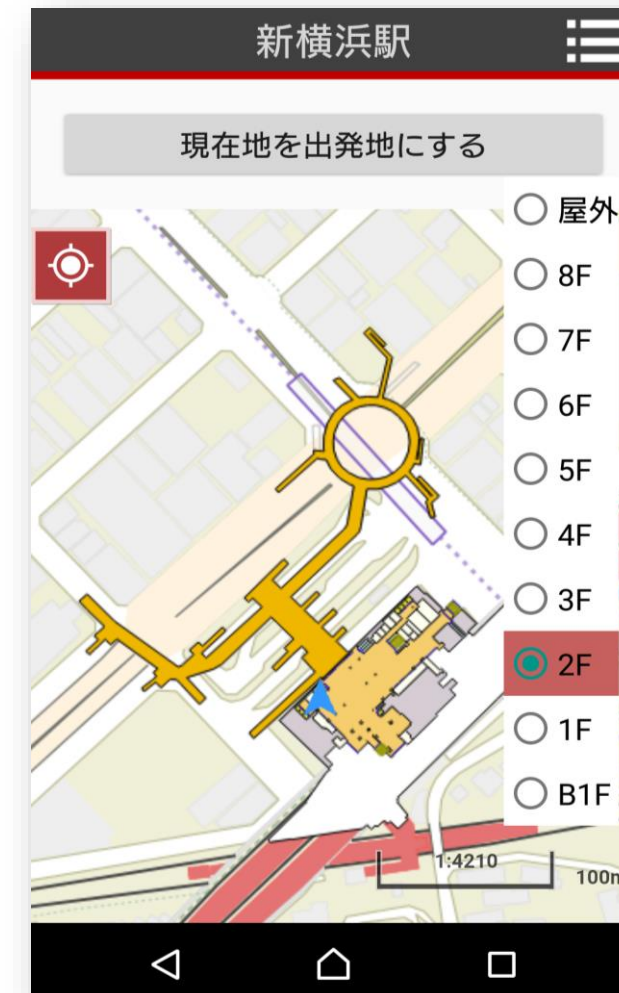
(第1・第2・第3ターミナルの一部)
成田空港制限エリア(保安検査後のエリア)、
駅改札内等の一部エリアは対象外です



(新宿ターミナル協議会の範囲)



(大手町・丸の内・有楽町、銀座、八重洲の一部)



(新横浜駅の一部)



(競技場内及びリング通路)

平成30年度の取り組み

- 大丸有地区都市再生安全確保計画の取組と連携し、災害時における屋内外位置情報を活用した「俯瞰型情報共有サービス」の実証実験を実施。
- 平常時の屋内位置情報の活用として、前述の実証実験と同様の仕組みを使って、実際に新丸ビル周辺警備を担うALSOK社に協力依頼を行い、警備観点における評価検証を実施。



救助活動の状況



災害情報の情報収集



関係者のインターネットブラウザで、
どこでもリアルタイムで視聴可能



通報者側の位置
と現場の様子が即
座に分かる

通報者側

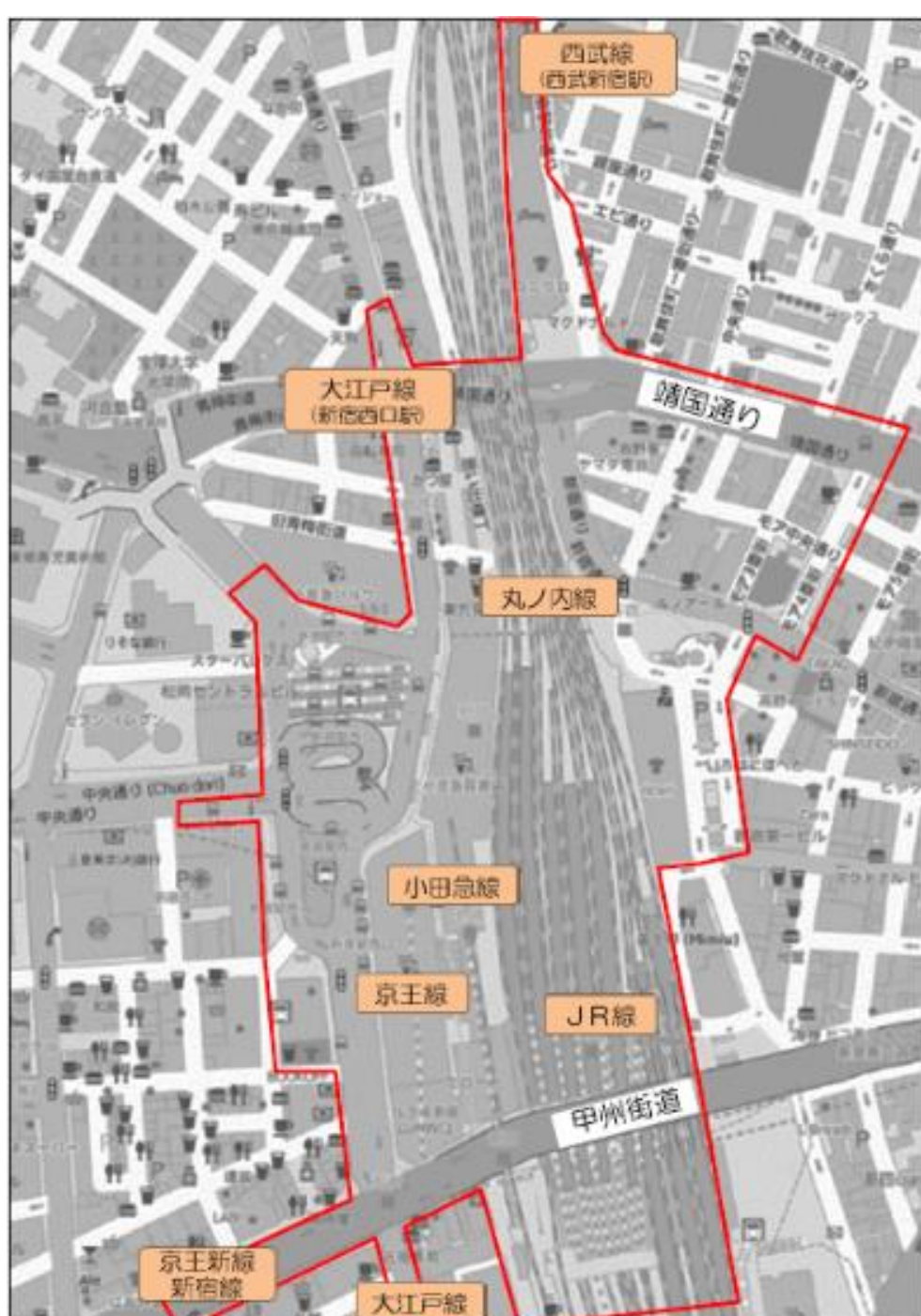
対応者側の画面

空間情報インフラの構成イメージ

屋内地図のオープンデータ化

- 民間事業者による多様なサービスの創出を目指し、過年度整備した屋内地図をG空間情報センターにてオープンデータ化
- 複数の鉄道事業者や民間ビル、公共施設等に跨がる通路を関係者の協力によりシームレスな地図として整備
- サービスの基盤となる屋内地図として、公共的な通路や階段、トイレ、エレベータなどの施設データを含む

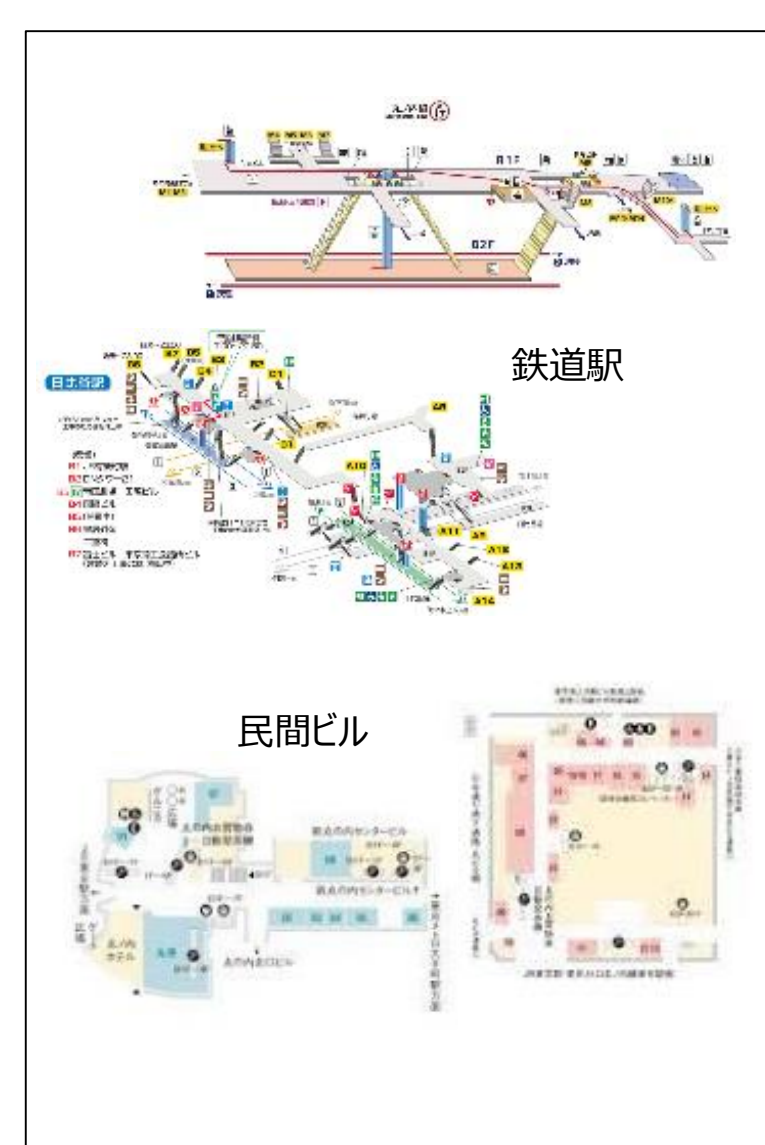
地図整備範囲



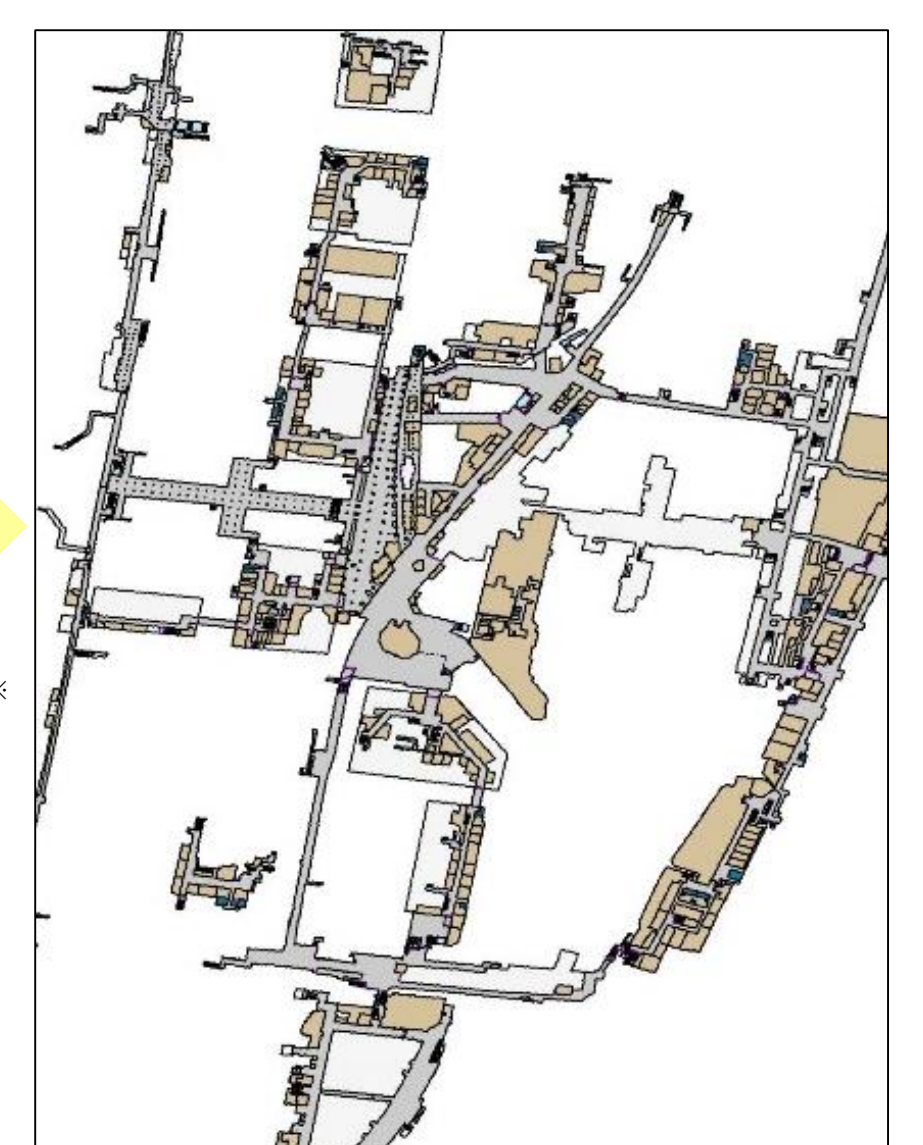
新宿駅周辺屋内地図
出典：新宿ターミナル協議会



東京駅周辺屋内地図



これまでの各施設がそれぞれフロア
マップ等を公開



シームレスな地図として公開

※国土院の「階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)」に基づき整備